

1 学校が直面している課題

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により浮き彫りとなった課題
 - ・ 感染拡大防止のための臨時休業が長期間になったときの子もたちの学びをどのように保障するか
 - ◇ 家庭学習の進め方
 - ◇ 課題の出し方、回収方法
 - ◇ 生活リズムの確保
 - ・ 学習機会を保障するための学校や家庭のICT環境の一層の充実
 - ・ 教室において予防のために児童生徒間の十分な距離を確保することが困難
 - ・ 保護者等が参観・参加する学校行事の実施方法等

2 帯広市の現状

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策
 - ・ 国や道の要請に伴い、市の判断で長期臨時休業を実施（期間中分散登校や家庭訪問を実施）
 - ・ 教職員が休業中の課題を作成し、各家庭を訪問して配布
 - ・ 学校運営の指針となる「帯広市学校教育推進の方針」を策定
 - ・ 新しい生活様式に沿って学校を再開
 - ◇ 行事・・・練習時間を含めた精選と見直し
 - ◇ 授業・・・マスクの着用、換気の徹底、手洗いの励行、学習集団の単位は原則学年単位を最大とする
 - ◇ 給食・・・同一方向を向き静かに喫食
 - ・ 従来行ってきた会議や他地域の学校との交流学習をWEB会議システムにより実施したほか、学校行事を保護者向けに動画配信した学校も

新型コロナウイルス感染症の感染防止策と学校教育活動の両立、今後起こり得る新たな感染症への備えとしての環境の整備が重要

3 今後の方向性

■ コロナ禍における学びの保障

- 学校・家庭・地域が協働し、地域全体で子どもたちの成長を支える
- 新たな感染症や災害の発生等の緊急事態であっても必要な教育活動を継続し、学びを止めない
- 個別最適な学びと協働的な学びを実現するために、GIGAスクール構想を推進することによりICTの活用を進め、学習活動・機会の充実を図る

■ ICT環境の整備～GIGAスクール構想～

- ICTはこれからの学校教育を支える一つのツールとして必要
- 今般の新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休業等に伴うオンライン教育等のためにも、日常的に活用できる環境整備が必要

